

シラバス (授業計画)

授業科目名	入学年度	開講学年・学期	必・選	単位数	担当教員名
裁判訴訟手続特論Ⅰ	共通	1・2年生	選択	2単位	吉野 正
準備学習の内容 (履修の前提条件) 裁判手続全般について基本的知識を学ぶ。					
授業の到達目標及びテーマ 裁判手続の基本を理解する。					
授業の概要 裁判手続を学ぶため、基本教科書を事前に読んでもらい、また適宜、教材を議論をしながら学ぶ。					
<p>授業計画</p> <p>第1回 訴訟の種類と構造 民事訴訟、行政訴訟、刑事訴訟</p> <p>第2回 訴訟の客体 (訴訟物) 1</p> <p>第3回 訴訟の客体 (訴訟物) 2</p> <p>第4回 訴の種類</p> <p>第5回 訴の形式</p> <p>第6回 訴訟の主体1 当事者対立構造、当事者、当事者能力、訴訟能力、当事者適格</p> <p>第7回 訴訟の主体2 訴の併合、共同訴訟、当事者参加、補助参加、選定当事者</p> <p>第8回 訴の提起 訴状、管轄、請求の趣旨、請求の原因、準備書面</p> <p>第9回 訴訟審理1 処分権主義、弁論主義</p> <p>第10回 訴訟審理2 口頭弁論手続、準備的口頭弁論手続、弁論準備手続、書面による準備手続</p> <p>第11回 証拠調べ1 文書提出命令、鑑定、証人調べ、書証、文書送付嘱託、調査嘱託</p> <p>第12回 訴訟の終了 終局判決、訴の取下、請求の放棄、認諾、訴訟上の和解、判決の確定</p> <p>第13回 判決の効力 既判力、執行力、形成力</p> <p>第14回 控訴、上訴</p> <p>第15回 判決の執行 執行の停止</p> <p>第16回 定期試験等</p>					
<p>テキスト</p> <p>適宜、資料を配布します</p>					
<p>参考書・参考資料等</p> <p>「民事訴訟法 (法学ライブラリー)」小林 秀之著</p> <p>「民事訴訟法」伊藤 眞著</p> <p>「租税判例百選5版」</p>					
<p>成績評価の方法・基準</p> <p>通常授業による学習態度の評価と試験を総合的に評価する。</p>					